

中学2年生 SDGs—防災編— 発表会を行いました。

夏休み前から SDGs についての概要を学び、「誰一人取り残さない防災への取り組み」をテーマに、次のような段階を踏んで学びを深めました。

今回は**大地震発生時に「特別なサポートが必要な人」向けのポケットガイドを作成し、クラッシーノートを使ってプレゼンテーションをしました。**

【発表までの取り組み】

1. 大地震が起こったら困ることを考えよう
2. 「東日本大震災」や「胆振東部地震」のときのことを身近な人にインタビューしよう
3. 大地震発生時に特に「特別なサポートが必要な人」はどのような人だろうか？
4. その人たちの立場に立って、日本や世界の自治体の取り組みを調べてみよう
5. 自分が特に気になる「特別なサポートが必要な人」の立場に立って、同じ考えを持つ人とグループになってディスカッションしよう
6. グループで既に函館市で取り組まれていること、足りないことを検証し、実際に理想のポケットガイドを作成しよう
7. 自分たちが調べたことを発表しよう **10月27日（金）、11月10日（金）**

*中2の皆さんが選んだ「特別なサポートが必要な人」：視覚障がい者・知的障がい者・ろうあ者・肢体不自由者・車いす利用者・高齢者・小さな子ども・孤児・日本語のわからない外国人・入院患者・妊婦さんでした。

指導した小阪先生からのコメントを紹介します。「発表については特に視覚障がい者向けでは点字を、小さな子ども向けには読み仮名をふり、日本語のわからない外国人向けには英語でも表記するなどの仕掛けが凝らされていました。また、これまでの発表経験や日頃の1分間スピーチの経験を生かして事前に用意した原稿をただ読み上げるのではなく、顔をあげて、身振り手振りをつかったり、クイズ形式にして会場を巻き込んだり、スライドを適宜拡大させたり縮小させたりするなどしていました。

2023年11月20日（水）

